

AKF(名古屋大学学術ナレッジファクトリー)

システム間連携の観点から

名古屋大学情報連携基盤センター
山本哲也
CSI委託事業報告 2006.5.16

この発表の内容

- ◆ 名古屋大学学術機関リポジトリ
 - ◆ AKFの目的・設計方針
 - ◆ 実装された機能
 - ◆ これからの展望
-

名古屋大学学術機関リポジトリ

- ◆ 通称 NAGOYA Repository
- ◆ 2006.2.28 稼動開始
- ◆ DSpaceをベースに構築
- ◆ 査読済論文を中心に
 - ◆ 学位論文・国際会議資料・紀要論文 など

名古屋大学学術機関リポジトリ

NAGOYA Repository

名古屋大学学術機関リポジトリ

- ◆ 各部局での説明会を開催
(2006.2.1から、現時点までに15回)
- ◆ 公開記念講演会(2006.3.9)



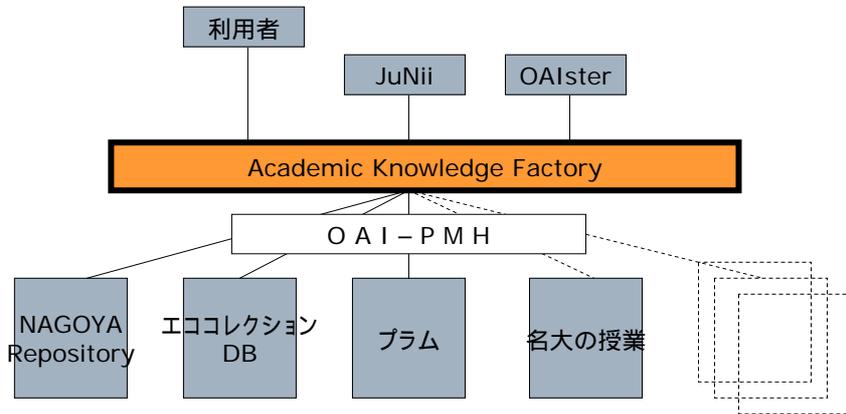
学内に分散する学術情報資源

- ◆ NAGOYA Repository 附属図書館
 - ◆ エココレクションDB 附属図書館/研究開発室
 - ◆ 名大の授業(OpenCourseWare)情報メディア教育センター
 - ◆ プラム(Webサイト資源検索) 情報連携基盤センター
- etc.
-

AKFとは

- ◆ 名古屋大学学術ナレッジファクトリー
Academic Knowledge Factory
 - ◆ 名古屋大学が生産、保有する教育・研究成果
の統合検索システム
-

AKF概念図



学内に分散する学術情報資源 > エココレクションDB

- ◆ 高木家文書
(木曾三川流域の治水史料)
- ◆ 伊藤圭介文庫
- ◆ 木曾三川流域環境史



学内に分散する学術情報資源 >

名大の授業

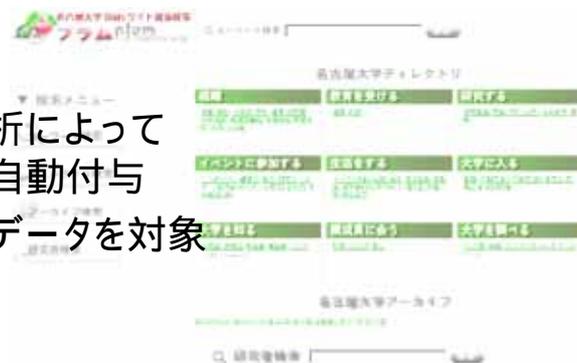
- ◆ OpenCourseWare
- ◆ 教材の無償公開事業
- ◆ 附属図書館からパスファインダーを提供



学内に分散する学術情報資源 >

プラム(名古屋大学Webサイト資源検索)

- ◆ 名大中のWebサイトを定期的にクロールしてアーカイブをつくる試み
- ◆ 自然言語解析によってメタデータを自動付与
- ◆ 学内の学術データを対象



メタデータの統一的な扱い(方法)

- ◆ メタデータの共通フォーマット
 - ◆ Dublin Coreの拡張
 - ◆ OAI-PMHを採用した、明確な仕様でのメタデータ収集ルール
-

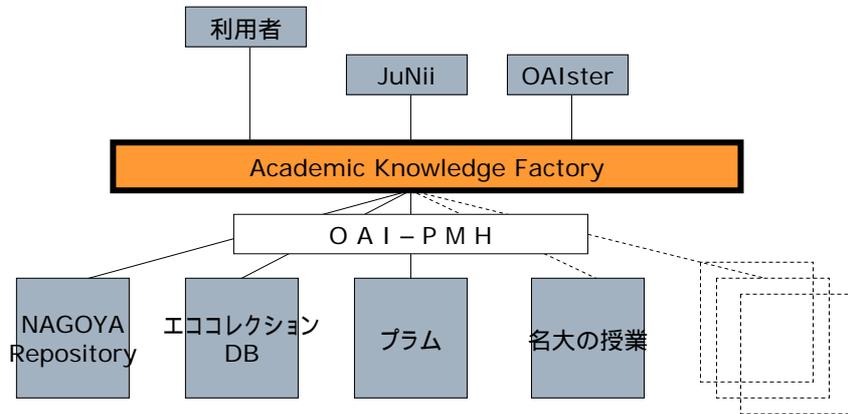
メタデータの統一的な扱い(効果)

- ◆ 統合検索
- ◆ JuNii、OAIsterなどへのデータ一括提供

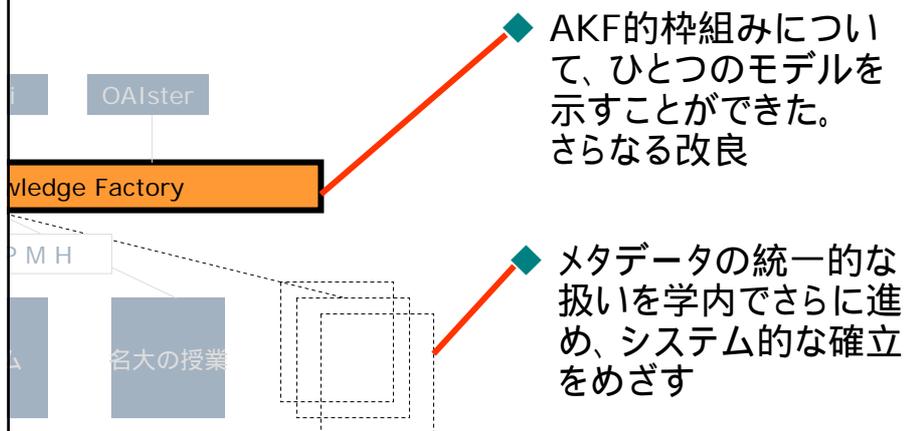


「名古屋大学の学術成果」はここから

メタデータの流れ



今後の展望



東海地区国立大学 学術機関リポジトリ実務担当者会議

- ◆ 地域大学間の連携を模索
- ◆ 名古屋大学の事例とノウハウを提供



参考URL

- 名古屋大学附属図書館
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/>
 - NAGOYA Repository
<http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/>
 - 名古屋大学学術ナレッジ・ファクトリー
<http://akf.nul.nagoya-u.ac.jp/>
 - エココレクションDB
<http://libst1.nul.nagoya-u.ac.jp/eco/>
 - 名大の授業
<http://ocw.nagoya-u.jp/>
 - 名古屋大学Webサイト資源検索 プラム
<http://plum.itc.nagoya-u.ac.jp/>
-